

I. 調査の概要

1. 調査の目的

就職氷河期に就職の機会を逃した事等により、不本意ながら非正規で働く者や長期無業者、社会参加にむけてより丁寧な支援を必要とする者などの職業に関する意識や正規雇用化への課題を明らかにするとともに、今後の施策展開の基礎資料とするためアンケート調査を実施した。

2. 調査方法

調査区域：鹿児島市内全域

調査対象：令和2年4月1日時点で34歳から49歳までの市民（無作為抽出）

調査方法：郵送による配布及び郵送またはWEB方式による回収

調査期間：令和2年12月1日（火）～令和2年12月21日（月）

回収結果：

配布数	回答方法	有効回答数	回収率
3,000人	郵送	700人	23.3%
	WEB	566人	18.9%
合計		1,266人	42.2%

3. 本報告書を見る際の注意事項

- ① 比率はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の設問は、百分比の合計は100%を超える場合がある。
- ③ 集計表内の「. %」（網掛け）の数値は、各属性で最も回答が多いものである（無回答は除く）。
- ④ グラフ中における「n」は、各設問の回答者数（サンプル数）のことである。
- ⑤ 「n」の少ない属性については、統計的誤差が生じる可能性が高く分析には適さないため、参考として示すにとどめ、コメントは控えている。
- ⑥ 性別の「答えたくない」は、サンプル数が少ないためグラフ化していない。